



# たか子のあつたか通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

## 学校給食の無料化を！



無料化をめざす「みんなの会」記者会見



駅前で宣伝と署名活動を行いました。「家計が助かります」という親子連れや高校生が署名に応じてくれました。足を停めて訴えを聞いてくれる方も多く、市民の期待の大きさを感じました。

### 新年

おめでとーいございます

金権腐敗政治が大事件となった昨年末でした。巨額の献金が政策をゆがめ、国民に負担増を強いながら大企業優遇の政治が続いています。今年こそ本気の野党共闘で、命と暮らし・平和を大切に  
する新しい政治を実現しましょう。

元旦の夕刻に能登半島で地震があり、松本市内も大きく揺れて緊張が走りました。被害の大きさや過酷な避難所の状況に胸が痛みます。一刻も早い救命と復旧のために国の支援を届けてほしい！災害はいつ来るか分かりません。行政にも防災減災の備えを一層求めなければと強く思う新年となりました。

また、この地震で志賀原発は冷却機能が停止し、油漏れを起したと報道されました。「地震国に原発はいらない」と声をあげていきたいです。

世界に目を向けると、ウクライナ戦争やガザ地区への攻撃が終わらず、尊い命が奪われていることに本当に胸が痛みます。一刻も早い停戦を望みます。我が国の軍備増強への転換にも注意を向けなければなりません。

「税金は軍備でなく暮らしに」と今年も皆さんと一緒に声をあげていきたいと思えます。本年もよろしくお願ひ致します。

塩原たか子

# 12月議会



## 一般質問

### 子育て支援充実願う声を届けて

#### 未満児保育の無償化を

**質問** 塩尻市は第2子から無償化するとしている。松本市の考えは？

**答弁** 財源確保と保育士人材確保が課題。人口定住化を進めるには必要な施策と考える。



#### 不登校支援の居場所へ財政支援を 子ども達の声を聞いて

**質問** 不登校児童が昨年度は680人と右肩上がり。抜本的な対策を求める。「多様な学びプロジェクト」では子ども達の実態やニーズを調査するインターネットアンケートを実施している。子ども達の「本当に気持ち」を聞くべき。



▽「松本市の豊かな環境を守り適正な太陽光発電事業を推進する条例」  
野立てのパネルについてこれまで1000mを超える場合は「届け出のみ」で設置可能でしたが、全てが「許可制」へ。さらに、禁止区域と抑制区域が松本市の9割を占める為、規制の強いものになります。地域住民には必ず説明会を実施し、協議を行うこととなります。最終的には市が責任を負うこととなります。

▽「ガザの戦闘停止」を求める決議  
▽「保育士の配置基準の改善」を求める意見書  
(以上は全会一致)

### 意見書採択



#### 待機児童ゼロへ

#### 保育士採用時期、処遇改善で増員を

**質問** 待機児童が22年度4人、23年度5人。潜在的待機児童は49人、途中入所できなかった未満児134人。待機児童の解消の課題は何か？



#### 過労死ライン超えは深刻 教員の働き方改善へ

**質問** 23年7月の80時間超え時間外労働職員は小学校で36人、中学校で39人で深刻な実態。改善対策は？

**答弁** 市教員の増員や教育業務支援員を市費で配置している。



#### 未満児保育室増設を

**質問** 未満児保育室の増設は島内と波田のみ。他は民間の小規模保育事業所7か所に委託。園庭がなくてもよい基準だが、近くの公立保育園との交流や園庭の利用が出来ないか？

**答弁** 公立保育園と連携協定を結んで、園庭の利用や3歳以上児との交流保育が出来るようになっている。

### 市長に問う 公約の「子育て支援」は前進しましたか？

一般質問で子育て支援について市民の声を届けました。臥雲市長は「若者の経済的な負担を軽減していきたい」と答弁しましたが、この4年間で前進したのでしょうか。子育て支援を公約の一丁目一番地というなら市民の要望を具体化することが大事ではないでしょうか。  
(塩原孝子)

### 継続審議

▼市役所建設構想は継続審議  
市長の分散化市役所構想は、本庁舎をスリム化して跡地を公共機関にすることは変わらず。職員が分散されてチーム力が弱体化する懸念があります。庁舎の床面積も不明。南松本は保健所のみ設置としていますが、他の健康づくり部門がどこまで入るのか不明。引き続き審議をしていきます。

# 貧困と生活保護を学ぶ「公的扶助研究全国セミナー」@佐久大学

「第55回公的扶助全国セミナー」が昨年秋に開催されました。このセミナーでは全国の福祉事務所のケースワーカーなど生活保護関係者、福祉関係者が課題を持ち寄ってより良い生活保護の在り方を研究、交流しています。自動車保有問題、大学進学時の世帯分離問題、住宅問題などが分科会で議論されました。全体会の記念講演を紹介します。(松本市城山・Kさん)



講師 尾藤廣喜弁護士(いのちのとりで裁判全国アクション)

## いのちのとりで裁判とナショナルミニマム

びとうひろぎ

2013年から2014年にかけて生活保護基準を最大で10%(平均6.5%)削られました。特に子育て世帯やひとり親世帯の削減は大きく生活を直撃しました。自民党安倍政権は前代未聞の670億円の予算削減を強行しました。

誰もが病気、障がい、高齢、ひとり親世帯になり、暮らしを維持できなくなる可能性があります。この場合憲法25条に基づく権利として「健康で文化的な最低限度の生活」を求めることができます。生活保護制度です。さらに生活保護基準(ナショナルミニマム)は下図のとおり国民のくらしに連動しています。

この前代未聞の生活保護基準引き下げは不当、合理性がないと生活保護利用が「いのちのとりで裁判」を訴え、今も続いています。22の地方裁判所の判決では12勝10敗です。

厚生労働省が生活保護基準引き下げの根拠とした消費者物価指数が低下した根拠は、テレビやパソコンなど含めた下落幅であるため生活保護世帯の家計に余裕が生まれないことが明らかになりました。福祉事務所のみなさんは、ケースワーカーの増員、職場環境の改善にも取り組み「すべての人にとって利用しやすい生活保護制度にする」と力を注いでほしい。

### 生活保護基準は様々な制度に連動します (国の発表では47制度)

労働	税金	教育	医療	介護	福祉	住宅
最低賃金	住民税非課税 地方税の減免	保育料減免 就学援助 高校等奨学金 私立高校・大学授業料減免	国保料減免 高額療養費自己負担減免	介護保険料減額 介護保険自己負担限度額	障がい者福祉サービス自己負担限度額 難病患者の医療費減免	公営住宅家賃減免

わたしたちの「いのちの最終ライン」生存権保障水準  
**生活保護基準**

多くの人の暮らしを支える大切な制度なんだよ

いのちのとりで裁判全国アクション資料参考



貧困問題の現状や課題報告  
公的扶助研究全国セミナー長野大会  
第55回公的扶助研究全国セミナー長野大会  
市の生活大学や白濁の種  
で知った。職員、社会福祉  
の専門家らでつくる全国公的  
扶助研究会が主催。県内外  
の公的扶助関係者約400人が  
参加。国産約400人が対象  
を考へた。  
会場は佐藤孝子理事長  
会場の様子

### いのちのとりで裁判

11月30日の名古屋高等裁判所では「引き下げは違法、永い間苦しい生活を強いられたみなさんに対して、国は慰謝料を支払うべき」と歴史に残る判決となりました。



自治体参加の「何でも無料相談会」  
SOSネットワーク上伊那の取り組み  
医療生協、箕輪町、社協、まいさぼ上伊那、法律事務所、労協などがネットワークを作り、毎月2回の無料相談会を物資支援をセツトにして、この間79回開催してきた報告がありました。相談者は延べ2059人。特徴的なのは、町の職員がこのネットワークに入り、相談カルテを作成し、福祉課がすぐに調整ができるシステム構築をしていることです。財政的な支援や物資の保管場所の確保も町が行っているという素晴らしい取り組みでした。(塩原孝子)

# 活動日誌

## 物価高騰から 市民生活を守る予算要望

共産党市議団は来年度の政策予算要望を行いました。公約で掲げた「子育て支援3つの安心」を重点施策として掲げた95項目にわたる予算要望を行いました。



## きずな村

恒

例のきずな村が松本市・塩尻市6ヶ所で開かれました。来場者は合計416人。市民から提供された米や野菜・用意したカップ麺や缶詰などの食料品・日用品を求めて開始30分前から行列ができ、15分ほどで配り終わりました。並柳団地では町会の協力を得て、庄内地区の生活支援員や保健師が暮らし相談、健康相談を



しました。



## 八ヶ岳音楽祭に参加

4年ぶりに南牧村で音楽祭が開催されました。協立うたごえサークルで出演しました。イスラエルのガザ攻撃が止まらない中で「ひとつのピース」の歌に平和への思いを込めました。

## 中学校

### 生理用品の女子トイレ配置実現

共産党市議団が要望してきた生理用品配置についてのアンケートが女子中学生全員に実施され、個室内に設置を望む生徒が96%ありました。

## 自衛隊への

### 名簿提供をやめよ

青年と共に危機管理課に申し入れをしました。名簿提供は、プライバシー保護の問題だけでなく、集団的自衛権の行使容認や敵基地攻撃能力保有で、殺し殺される危険がある自衛隊へ自治体が若者を送るといふことです。



4割の自治体が名簿提出をしていません。除外申請制度を青年に知らせると同時に、名簿提供をやめさせるよう求めていきます。

## ほっとひといき



庄内公園で開催された健康友の会の行事で、ポールウォーキングを体験しました。初めはポールをつく位置と足元が気になり下を向いていましたが、次第に歩幅が広くなり背骨がシャキッと伸びてきました。単なるウォーキングでは腕を大きく動かすことがなかなか出来ませんが、ポールを使うと肩の関節を大きく動かすことができ、爽快感でした。寒くなってきましたが、体を動かして健康に過ごしたいものです。

## 暮らしの相談から

★ 土地問題で「土地家屋調査士」を紹介して欲しいと相談がありました。調査士さんを紹介しました。

★ 病院に入院中だが、退院後は施設入所を希望している。どうしたらよいかと相談がありました。

★ 要支援認定だったので、再認定をしてもらうようにアドバイスをし、介護3の認定となり、施設を紹介することが出来ました。

★ 中山地区の通学路で車がスピードを出すために危険な箇所があり、ガードレールを設置して欲しいと相談がありました。県道のため、両角県議に連絡をとり、担当署に現場の確認をしてもらいました。設置に向けて取り組んでいきます。